

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議の開催について 従来から年2回開催してきたが、「入居者や関係者などからの要望、助言等を聞き、提供するサービスを明らかにしながら質の向上を図る。」という運営推進会議の設置目的に対して不十分であり、制度が求める「おおむね2ヶ月に1回の開催」に至っていない。	制度が求めている年6回の開催に向け努力したい。	グループホームが実施する行事等の際に、運営推進会議委員に出席を依頼し、助言、提言をいただき、2ヶ月に1回(年6回)の開催を目指したい。具体的には、避難訓練・敬老会・ひなまつり・誕生日会等々を活用したい。	12ヶ月
2	35	①地元諸区との災害時の協力体制づくりについて 災害時、とりわけ火災の際は、地元の皆さんの協力を得なければ、入居者の生命と安全を守るための対応はむずかしい状況にある。② 夜勤体制での災害時対応について グループホームの建物が2階建であるため、2階入居者の避難誘導に不安がある。	①地域の被災時には、医療法人柳泉会の各施設を被災者の収容拠点として活用し、また、施設が被災した場合は、地元の皆さんが施設入居者を援助する相互関係を形成し、双方にとって災害時に助け合いが可能な、「相互援助協定」を締結したい。②夜勤体制で、入居者の安全を確保したい。	①法人が組織する「防災委員会」とともに、年内に素案をまとめ、区長交代期に当たる平成25年3月までに調印の運びとしたい。 ②夜勤体制を想定した避難誘導訓練を実施したい。	4ヶ月
3	49	○外出支援について 入居者の重度化や身体的レベルの低下が、一層外出を難しくしている。	できるだけ入居者の外出の機会を多くしたい。	老健のリフト車を借用し、全員が一度に外出することは難しいので、班編成により計画的にドライブ等を実施したい。又、以前からも地域の小中学校の行事や地元区の作品展等に積極的に参加してきたが、より多くの入居者の参加を促したい。又、庭の遊歩道を有効活用したい。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。